

新火葬場建設候補地の絞込みについて（報告）

1. 結 論

(1) 6 月 1 日に発足した新火葬場建設検討委員会には、P T 会議での法的、技術的、周辺状況等の検討を踏まえて次の 3 ヶ所を建設候補地として提案。

1	大藪町迫間洞(ため池・旧開墾地)
2	松坂町 3 丁目(昭和生コン対面)
3	笠原町梅平(旧ごみ焼却場)

(2) 市議会、笠原地域審議会、区長会等で説明した 5 ヶ所のうち 2 ヶ所と、その後に地権者等から申し出のあった 2 ヶ所については、下記に記載した理由で除外。

2. 絞込みの主な理由

(1) 市議会、笠原地域審議会、区長会等で説明した候補地

候補地名	除 外 の 主 な 理 由
金岡町 5 丁目 (工場跡地)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設のセレモニーセンターに近接しているが住宅密集地。 ・ 狭小な生活道路を經由するため、進入道路の新設が必要となる。進入路建設用地の取得の可能性が不透明。
笠原町森下 (旧し尿処理場)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅、工場の密集地であり、十分な緑の緩衝帯を設置すると敷地面積に制約が発生。 ・ 笠原町時代のし尿処理場建設時の経緯から、地元自治会の理解が得られない見込み。

(2) 地権者等から申し出のあった候補地

候補地名	除 外 の 主 な 理 由
大原町 (旧農免道路沿)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該地の開発業者からの申し出。 ・ 地権者の建設同意が得られず、開発業者が断念。
光ヶ丘 5 丁目 (前回検討地)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該地を管理する不動産業者からの申し出。 ・ 都市計画上は、保全すべき斜面緑地に位置。 ・ 傾斜が急なため進入路の取り回し、造成費用が多額になることが課題。斜面緑地の景観が大きく変容。 ・ 前回の選定委員会で検討した結果は不採択であり、それ以後、手付かずのまま。

3. 参考

(1) 多治見市新火葬場建設検討委員会名簿

委員名		分野	所 属
◎	カヤマ ユキオ 片山 幸士	学識者	人間環境大学副学長 森林環境学、環境アセス
○	マエダ トシコ 前田 稔子	市民団体	社会福祉協議会理事 元地域福祉計画評価委員
	カサハラ タダオ 笠倉 忠夫	学識者	名古屋産業科学研究所上席研究員
	トヨタ ヨシキ 豊田 洋一	学識者	中部大学工学部建築学科教授
	ハルタ コウ 春田 剛	市民団体	多治見市区長会 総務会副会長
	ミヤジマ ヒロシ 宮島 弘佳	市民団体	河川自然環境保全復元団体、リバーサイドヒーローズ
	建設地区長	市民団体	建設地確定後、該当区長へ委員をお願いする予定。

※◎委員長、○副委員長

※委員会の任期は、建設完了まで

(2) 今後の委員会スケジュール

第 1 回	6 月 1 日 (木)	13:00～	委嘱状交付、経過報告、先進地視察 (羽島市、土岐市)
第 2 回	6 月 28 日 (月)	〃	候補地視察
第 3 回	7 月 9 日 (金)	〃	建物配置図を基に候補地の検討、法規制等の周辺状況を検討
第 4 回	8 月 3 日 (火)	〃	地元意向検討、事業化可能性の検討、1 次絞込み
第 5 回	8 月 26 日 (木)	〃	答申案検討
第 6 回	9 月 27 日 (月)	〃	委員会答申